

学校の現況

教頭 中原晋介
板谷淳子

一 今年度の学校経営計画

本校のスクールミッションは、特色ある学びを活かし、多様な進路希望に応えるとともに、主体的な学びを支援し、地域等と連携した実習、就業体験活動、課題解決型学習や、積極的な国際交流等の教育活動を通して、様々な場で活躍し、社会の発展に貢献する人材の育成を目指すことです。このミッションを実現するために、様々な人や場面の出会いの中で主体的・協働的に学び、大きく成長してほしいという願いを込めた「殻を破ろう、人と繋がろう」というキャッチフレーズを掲げ、日々の教育活動を行っています。

- 本年度の具体的な学校経営目標・計画として
- (一) 主体的・対話的で深い学びによる資質・能力の育成
- (二) 健やかな心身の育成と人間力の向上
- (三) 安全安心で快適な学校生活のための施策の推進
- (四) 学校の魅力化と情報発信（開かれた学校づくり）

の四点を柱に、これらを実現するための具体的な重点項目を定めました。この目標を各部・室、各学科、各学年及び各教科等でどのように実現していくかを「担当ごとの具体的計画」として定め、「達成基準」を明示して取り組んでいます。

二 生徒の状況

(一) 学科構成と生徒在籍数
(令和八年一月一日現在)

学 科	1 年	2 年	3 年	専1年	専2年
普 通 科	120	118	115		
食 物 調 理 科	35	40	39		
看護科・専攻科	33	40	39	35	29
学 年 合 計	188	198	193	64	
計	643				

(二) 生徒の居住地等
生徒の居住地は津山市を中心とした美作地域が九七%を占めています。本校は全県学区となっているため岡山市、赤磐市

など県内各地域からも約三%が入学しています。自宅からの通学が困難な生徒のために女子寮（みやがわ寮、定員三十一名）があり、今年度は十五名の本科生が在寮しています。なお、男子生徒は入寮できないため、下宿等を行っています。

(三) 進路の状況

令和六年度卒業生の進路概況について、食物調理科は進学者数が就職者数をやや上回りました。就職では調理またはサービス系、進学では調理系専門学校や管理栄養士養成課程等、ほとんどの生徒が高校での専門性を活かした進路を選択しています。看護科はほぼ全員が専攻科へ進学しました。が、専門学校への進学や就職した人もいました。専攻科は看護師として医療機関等へ就職する生徒が中心です。また、養護教諭や助産師等の資格取得を目指した大学・専門学校への進学もありました。なお、令和六年度の看護師国家試験の合格率は一〇〇%でした。これはひとえに津山市医師会をはじめ、地域の皆様のお力添えのおかげと感謝してまいります。

普通科の進路決定の傾向は、例年と大きな変化はありませんでした。五回目の実施となった大学

入学共通テストの難化の影響が心配されましたが、三年間で培った力を発揮し、合格することができました。詳細につきましては進路支援部のページをご覧ください。

三 今年度の取組概況

(一) 学校行事

令和五年五月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、学校生活もコロナ前の状況に戻りつつあります。しかし、病院等では今までもおりの感染対策が続いているため、病院実習を行う看護科を持つ本校では引き続き感染対策に配慮して学校行事を行っています。

(ア) 令和六年度卒業式

令和七年三月一日十時より、第一体育館で令和五年度卒業証書並びに修了証書授与式を挙行しました。昨年度同様、一・二年生も式に参加し、学校全体で卒業生の門出を祝う式典となりました。食物調理科三十六名、看護科三十八名、普通科一四四名が卒業、専攻科二十六名が修了しそれぞれ道へ踏み出しました。

(イ) 令和七年度入学式

令和七年度入学式は、来賓榎田晃隆PTA会長をお迎えし、入学生とその保護者、教職員の参加の下で四月八日午後二時から挙行いたしました。

食物調理科三十六名、看護科三十三名、普通科一三〇名、専攻科三十六名の入学が許可されました。

(ウ) 修学旅行

令和七年六月十日（火）十三日（金）の間、計画していたとおりの日程で関東方面への修学旅行を実施しました。初日のコース別研修（オリンピック体験や最先端科学・技術体験など）では普段ではできない体験をしました。二日目の都内班別自主研修や三日目の東京ディズニーリゾートでは仲間たちと見聞を広め、一生の思い出をつくることができました。大変充実した時間を過ごすことができました。四日間だったと思います。

(エ) 東雲祭

本年度の東雲祭は、「百花繚乱〜咲き誇れ〜」というテーマのもと、九月に三日間にわたり開催されました。生徒会執行部を中心に、「対話」を通じて生徒一人一人が自分や他者の個性を尊重し、何をすべきかを考えながら、主体的に取り組むことを大切にしました。学校祭となりました。

(オ) 芸術鑑賞会

十月十七日（金）午後、雅楽師の東儀秀樹さんによるコンサート「トーク&ライブ 悠久の響き」を、本科生（一〜三年生）全員で鑑賞しました。

(カ) 東儀秀樹さんは一三〇

〇年続く雅楽の家に生まれ、日本の伝統文化を守りつつ様々なジャンルとコラボレーションをして、雅楽の第一人者として国際的に活躍されています。

団長からの熱い思いを發表したり、団Tシャツの図案作成者の思いを伝えたりもしました。有志によるステージ発表も今年出場者が多く、二日にわたり、ステージを盛り上げました。

体育の部は、不安定な天候の中、競技時間を短縮したり、日程を前倒したりしながらの開催となりました。しかし、悪天候を吹き飛ばすような選手たちの熱戦もあり、団長を中心に各団で団結することができました。

今年の東雲祭は初めて取り組んだことが多数ありましたが、生徒会執行部の企画力や、全校生徒の協力により大成功となりました。こういった経験から自分たちの学校への愛校心を醸成し、よりよい東高校を作っていくてほしいと思います。

(キ) 芸術鑑賞会

十月十七日（金）午後、雅楽師の東儀秀樹さんによるコンサート「トーク&ライブ 悠久の響き」を、本科生（一〜三年生）全員で鑑賞しました。

開演と同時に、直衣姿の東儀秀樹さんが生徒たちの間を通って笙を演奏しながら入場されたときには、神々しいばかりの美しさに、会場からどよめきが起きました。



続いて、笙と箏の古楽器紹介がありました。古楽器が原型のまま今に受け継がれているのは日本の雅楽だけだというお話に、生徒たちはひきこまれました。そして、天から降り注ぐ光のような笙の響き、人のぬくもりを感じさせる箏の音色にすっかり心奪われました。

公演時間の九〇分間はあっという間に過ぎ、考查の疲れも吹き飛びました。

考查最終日の午後には、笙や箏の美しい音色に包まれ、心洗われる時間を過ごすことができました。

(力) 国際交流会

九月十日(水) 食物調理科三年生の課題研究の時間に、津山工業高等学校の留学生レクシーさん(インドネシア出身)とドリアンさん(クロアチア出身)が参加して、一緒に和菓子作りをしました。

初めに二人から、自己紹介も兼ねて母国の紹介をしてもらいましたが、どちらもとても工夫されたプレゼンテーションで、一同感動しました。

実際の調理では、「フルーツ大福」と「うさぎの桃山」作りに挑戦。食物調理科三年生の慣れた手つきに比べて、二人の留学生は慣れない調理に苦戦しつつも、やり方やコツを教えてもらいながら無事完成することができました。

和菓子作りをしながら、お互いの国のことや学校生活のこと、好きな音楽、アニメの話など食以外の話でも大盛り上がり! 楽しく充実した国際交流をすることができたと思います。

今回の交流を通して国や文化が違って、「おいしい」という気持ちは世界共通だということ、そして一緒に何かを作り上げることで、心の距離が縮まるという大切なこ

とを学びました。この貴重な経験を忘れずに、これからも食を通して人を笑顔にできる調理師を目指して、日々の勉強や実習に励んでいきたいと思えます。



(キ) 校外実習

本年度は、看護科や食物調理科での校外実習を、ほぼ例年どおり実施することができました。感染症対応に苦慮される中でありながらも、地域の多くの病院・施設で実習を受け入れていただき、生徒は安心して実習に臨むことができました。関係の皆様の御厚意に深く感謝申し上げます。

(ク) 地域連携

本校では、食物調理科、看護科、普通科それぞれの学びを活かした地域連携を推進しています。毎年延べ一五〇名以上の生徒が地域でのボランティア

活動に参加しています。食物調理科では津山産のショウガや地域の食材を活用したレシピを開発し、地元のスーパーマーケット主催の「高校生レシピコンテスト」や「しのめキッチン」の開催、各種イベントでの販売を行いました。看護科は保育園等でのボランティア、津山市で実施されたインターハイ(ソフトボール)における救護係やおかやまマラソン等地域のイベントスタッフとして活躍しました。また、普通科ではさら山時代祭等、津山市内で開催されるイベントスタッフや、子どもたちの学習支援等のボランティア活動に参加しました。そして、校内では「総合的な探究の時間(校内名称「行学」)の時間を中心に、地域と連携した探究学習に取り組んでいます。

本校は岡山県教育委員会「おかやま高校生地域未来創造事業」の五年目の指定を受けています。この事業では、高校生が中山間地域等における地域の課題に主体的に取り組む、フィールドワークを通じて地域について学習することで、地域の課題解決と地域貢献の意欲向上を図り、次代の中山間地域において活躍する人材を育成することが目

標とされています。本校は二年生普通科の行学で研究に取り組みました。津山市加茂町知和地区や鏡野町香北地区、美作市上山地区をフィールドに中山間地域における福祉や教育、地域振興等の諸課題に真剣に向き合い、地域の皆様と連携して、高校生として何ができるかを考え実践しました。

この事業には、岡山大学学術研究院教育研究マネジメント領域准教授の吉川幸様、美作大学生生活科学部教授の武田英樹様を始め、美作大学、株式会社マルイ、津山市役所、鏡野町役場や地域コーディネーター、地域の皆様に御協力いただき、生徒の活動に御指導・御助言を頂きました。

(三) オープンスクール

八月二十二日、中学三年生とその保護者を対象に、オープンスクールを開催しました。今年度は、学校紹介(普通科)、実習見学(食物調理科・看護科)、在校生との座談会(全科)を行い、当日は合計一〇五六名(中学三年生四七九名、中学二年生二三八名、保護者三三九名)の参加をいただきました。また、この日は約百名の在校生がスタッフとして受付・学校説明・誘導案内や実習デ

モンストレーション、座談会等の運営に協力してくれました。特に座談会では、本校の勉強や実習についての話を先輩から聞き、中学生は興味深い様子で聞き入っていました。本校の魅力や特長を知っていただくために、来年度以降も内容や実施方法を工夫しながらオープンスクールを企画していきたいと思えます。

○学校説明会・部活動公開

十月十八日、中学三年生とその保護者を対象に、授業公開と部活動公開を実施しました。中学三年生・保護者合わせて三九三名が参加し、授業の様子と部活動を自由に見学しました。授業見学の後には生徒代表によるシンポジウムも行われ、本校生の授業や部活動の様子だけでなく、生き生きと学ぶ生徒の姿を示すことができたと思えます。

(四) 受賞の記録

生徒は日頃の活動の成果を様々な機会に発揮しています。今年度の主な成績を御紹介します。

〈全国大会〉

【食物調理科】
○うまいっしょ北海道
全国高校生料理選手権
二〇二五
入賞

岡田 結子 (3)
中村 にご (3)

○第五十六回全国高校生料理コンクール
アイデア賞
江幡 莉安 (3)

〔中国大会〕

○第四十六回(令和七年度)牛乳・乳製品利用料理コンクール
優良賞
鈴木 心優 (1)

〔陸上競技部〕

○第七十八回中国高等学校陸上競技対校選手権大会
男子四〇〇mH
準決勝進出
宮本 亮 (3)

〔県大会ベスト8以上〕

○第四十六回(令和七年度)牛乳・乳製品利用料理コンクール
優秀賞
鈴木 心優 (1)

○令和七年度食肉総菜創作発表会岡山県大会
優秀賞
久保田香奏 (3)

〔陸上競技部〕

○第六十四回岡山県高等学校総合体育大会陸上競技大会
男子四〇〇mH
第六位
宮本 亮 (3)

○第五十八回岡山県高等学校陸上競技選手権大会
男子四〇〇mH
第四位
宮本 亮 (3)

女子走幅跳
第六位
中野 咲良 (1)
○第七十三回岡山県高等学校新人陸上競技大会
女子走高跳
第八位
庄司 紗恵 (1)

女子走幅跳
第六位
中野 咲良 (1)
男子四〇〇mH
第六位
柳樂良太郎 (2)

女子やり投
第五位
井上友梨歩 (1)

○第十九回岡山陸上競技カーニバル大会
女子やり投
第八位
宮本 亮 (2)
井上友梨歩 (1)

四 おわりに

本校は自然豊かな環境の中、生徒たちは日々勉学、部活動、そして地域社会と連携した活動に励んでいます。その頑張りには目を見張るものがあり、教職員一同、大変頼もしく感じております。

しかしながら今日の社会は、地域社会の活性化から急速に変化する国際情勢への対応まで、多様な課題に直面しています。このような時代において、本校が果たすべき役割は単に知識を伝達することにとどまりません。私た

ちはこの地域で育まれた豊かな感性と、主体的に物事を考える力、そして他者と協働する力を土台として、地域社会や国際社会の変化にシなやかに対応できる人材の育成を使命として掲げ、邁進していく所存です。

卒業生の皆様におかれましては、それぞれの分野でご活躍される中で、温かいご支援、ご指導を賜り、心から感謝しております。今後とも未来を担う生徒たちの夢を支援し、地域社会に貢献できるように引き続きのご理解と力強いご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



進路支援部長 杉山理文

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校の進路指導につきまして、ご支援をいただきありがとうございます。

近年、グローバル化や情報通信技術の進展、少子高齢化など社会の変化への対応が必要となっており、教育現場においてもその影響が大きく見られます。特に大学入試では多様な個性や資質を備えた学生を選抜するさま

ざまな入試が行われており、さらに二〇二〇年度より導入された共通テストでは昨年度より新たに情報科目が加わるなど変更・再編されました。

そのような状況下で、生徒が希望する進路の実現に向けて、教員一丸となつて生徒と一緒に取り組んでおります。知識の習得のみならず、数値で測ることが難しい内面的な力の育成にも力を注いでおり、生徒は本校の特色である行学や現場実習を通して、コミュニケーション力や実践力を磨いています。また今年度は三年生の進路決定者を対象に租税教室や金融教育などのキャリア教育を充実させ、就職や進学後に必要となる社会人としての基礎的な知識やマナーを習得する取り組みを行いました。

このような活動の成果もあり、今年度の就職では本科生が応募したすべての企業から内定をいただき、進学では総合型選抜・学校推薦型選抜で十二名の生徒が国立大学合格を勝ち取っています。また、今後一般選抜を受験する生徒は、希望する学校に合格するために、一生懸命勉学に励んでいます。今後も、生徒が希望する進路希望の実現に向け、さまざまな取り組み

を充実させていきたいと考えております。同窓生の皆様にもご協力をお願いすることもあるかと思いますが、よろしくお願ひ申し上げます。最後に、今年度の進路状況を報告いたします。(一月中旬現在判明分)

進学の部

○合格者数

- 《本科》
- ・国立大学 12
- ・私立大学 82
- ・私立短期大学 4
- ・専門学校等 27
- ・専攻科 3
- ・私立大学

○主な合格先(内は人数)《本科》

- 〔国立大学〕
- 岡山大学(3)、島根大学、岡山県立大学(3)、山口東京理科大学、福山市立大学、公立鳥取環境大学(2)、北九州市立大学
- 〔私立大学〕
- 京都外国語大学(2)、京都産業大学(5)、京都文教大学、大阪経済大学(2)、大阪経済法科大学(2)、大阪商大、大阪樟蔭女子大学(2)、大阪成蹊大学、関西外国語大学、関西福祉大学(2)、近畿大(7)、四天王寺大学、摂南大学、阪南大学(2)、追手門学院大学、奈良大学(2)、神戸学院大学(2)、神戸女子大学、神戸松蔭大学、神戸親和大学、帝塚山学院大学、武庫川女子大学、皇學館大学、滋慶医療科学大学、

- 岡山商科大学、岡山理科大学(4)、川崎医療福祉大学(10)、就実大学(6)、清心女子(2)、美作大学(11)、中国学園大、倉敷芸術科学大学、岡山医療職大、広島国際大、安田女子大、福山大
- 〔私立短期大学〕
- 愛知学泉短大、愛知工科大学自動車短大、川崎医療短大、山陽学園短大
- 〔専門学校等〕
- 大阪外国語・ホテル・エアライン専門、大阪ビューティーアート専門、関西美容専門、グラムール美容専門、大阪病院付属看護、関西労災看護専門、名古屋市文理栄養士専門、辻学園栄養専門、鳥取市医療看護専門、岡山ビジネスカレッジ(5)、岡山情報ビジネス学院(2)、西日本調理製菓専門(2)、岡山理科大学専門、岡山歯科技工専門、専門学校ビーマックス、岡山済生会看護専門、岡山労災看護専門、津山中央看護専門、山手調理製菓専門、広島外語専門、福岡ホテル・ウエディング&製菓調理専門看護
- 《専攻科》
- 〔私立大学〕
- 吉備国際大学(2)
山陽学園大学

就職の部
○就職状況
・就職内定数/希望者
本科 19/20名

専攻科 26/29名

○就職内定先

【本科】

【二般企業】

- ・県内
 - ラ・プロヴァンス、ジェイアール西日本、フードサピスネット、大市珍珠、ゆのごう美春閣、アクトクリエイト、GreenDays
- ・県外
 - (京都) つる家、銀閣、ホテルオークラ京都、岡崎別邸
 - (大阪) エイエエスケータリング、第一食品、阪急阪神ホテルズ
 - (兵庫) 西村屋、リブマック、スリーシング、ホテルニューアワジCF
 - (東京) リゾートトラスト、ケアサービス
 - (愛媛) 浜木綿
- 【公務員】
 - 警察官
- 【専攻科】
 - ・県内
 - 津山中央病院(9)、津山第二病院(4)、石川病院、希望ヶ丘ホスピタル(3)、岡山市民病院、岡山医療センター(3)、倉敷中央病院、竜操整形外科病院
 - ・県外
 - (東京) 苑田第一病院
 - (大阪) 阪和記念病院
 - (埼玉) 上尾中央総合病院

近況報告
看護科

看護科長
小林悦子

同窓生の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素から看護科・専攻科の教育活動に多大なるご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本校看護科・専攻科ではこの度、5年一貫課程の二十期生を送り出す運びとなりました。

今年度も看護科・専攻科の教育活動において、感染予防策を講じながら、以前のような活動が実施できましたのでご報告させていただきます。

令和七年四月、看護科一年生三十三名が入学しました。人の気持ちに寄り添える看護師になるために、看護の学習に一生懸命取り組んでいます。

十月二日には、本校の第二体育館を式場に、第六十回継灯式を挙行していただきました。今年度も実習施設の方々を来賓としてお迎えしました。継灯生は、来賓の皆様と保護者の皆様、そして教職員の前で、看護の精神の象徴であるナイチンゲールの灯を引き継ぎ、誓いの言葉を唱和することができました。また、来賓の皆様から心温まるお祝

いの言葉をいただき、継灯生一同、看護の道を歩む決意を新たにしました。専攻科においては、津山市医師会をはじめとする外部講師の先生方には、専門分野の授業でご協力をいただきました。多くの方に支えていただきながら学んできた専攻科二年生は、二月十五日に第一一五回看護師国家試験を受験します。五年間の集大成として、持てる力を最大限発揮して頑張ってきてもらいたいと願っています。

二〇四〇年に向けてさらなる少子高齢化の進展、そしてDXの推進や働き方改革など看護を取り巻く環境が大きく変化することが考えられます。看護の仕事にもAIの導入が進み、看護師不足を補完する期待もあります。しかしながら、患者の揺れ動く心情を汲み取りケアに反映させるというようなことは人にしかできないことであり、たとえAIが進化しても人間らしさは代替することはできないと思います。生徒には患者さんと関わる時間を大切にすることで、思いやりの心や看護の心を育てながら、患者さんの意思を尊重することや倫理感を育てていきたいと思えます。

生徒が地域の方々とつながる活動において、学

年や世代の枠を超え、津山東高校の良き伝統を引き継いでこられた同窓生の皆様のお力をお借りできればと思っております。津山東高校看護科・専攻科が地域の保健・医療・福祉に貢献できる人材を養成する役割を果たしていけるよう、生徒、教職員ともに力を合わせてまいります。今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。近況の報告とさせていただきます。



近況報告
食物調理科

食物調理科長
河本美喜

同窓生の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

本校食物調理科は設立から三十八年が経ち、多くの卒業生の活躍の噂をいつも耳にし、頼もしく思っております。

さて、今年度の料理コンクールでの生徒の活躍については受賞の記録のとおりですが、一年生のうちから身に付けた知識と技術、創造力で多くの料理コンクールに果敢に挑戦し、力をつけています。また、地域でのイベントに参加したり、出張

料理レストランを開催することで、社会性・コミュニケーション能力、企画力など、調理師に必要な様々な素養を身に付けようと日々努力をしています。

さて、一月二十日、三年間の学習の成果を発表する第三十六回卒業制作展示発表会を開催いたしました。生徒達は感謝の気持ちを含め、一つひとつ作品を仕上げました。共同制作では、入学当初私達は爪楊枝のように小さな枝でしたが、三年間切磋琢磨し、大きな作品を作ることができるよう成長したいという思いで「小さな木から大きな成長」と題し、爪楊枝を着色し、あこがれのコック帽を被った時の初心を忘れないように調理師仮認定制の写真を再現しました。

料理コンクールにおいては、「時の流れ〜十八年の軌跡〜」と題した島村湧の作品が最優秀賞に選ばれました。その他、優秀賞には、清水千賀と藤井明奈、審査員特別賞には内田愛梨、川端こころ、菊本瑞葵、中村にこ、矢田部夏帆が選ばれました。決して賞を取ることが目的ではありませんが、三年間お互いに切磋琢磨した仲間を讃え、各自が感謝の気持ちを伝えることのできた発表会となりました。

進路につきましては、美作大学、安田女子大学、広島国際大学の管理栄養士養成課程への進学をはじめ製菓衛生師の資格取得を目指して専門学校に進学する生徒やその他の資格取得に向けて進学する生徒が約六割を占め、就職においては、銀閣、エイエエスケータリング、阪急阪神ホテルズ、ホテルニューアワジ、リゾートトラスト、つる家、ホテルオークラ岡崎別邸、西村屋、浜木綿、第一食品など、県外のホテル・旅館での内定を頂き、活躍に胸をふくらませており、また、美春閣、ラ・プロヴァンス、ジェイアール西日本フードサービスネット、大市珍珠など県内で地域貢献をしたいと強い思いをもって就職を叶えることができました。このような不況の中でも調理師の資格を活用して就職出来るのは、卒業された先輩が頑張っておられるお陰であり、先輩方を目標に後輩が成長してくれることと期待しているところです。

今後とも社会に貢献する調理師の育成を目指し、職員一同力を合わせて取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。近況報告とさせていただきます。

東高同窓生寄稿文集



近況と地域の安全

平成十二年 普通科卒

芦田 裕志

津山東高校を平成十二年度に卒業してから、早いもので二十六年が経過しました。同窓生の皆様

いかがお過ごしでしょうか。私は高校卒業後、大学に進学し、大学で社会

の仕組みを学ぶ中で「直接的に人の役に立ちたい」と思うようになり、

消防士の道を目指すことにしました。採用試験に向けた勉強に励んだ末、

採用をいただいたから、消防士としての歩みも二十二年を数えます。キャ

リアの内十年間は救助隊員として人命救助に全力で取り組んできました。

一分一秒を争うような現場もありましたが、現在は予防課へと籍を移し、

建物の防火査察や防火指導にあたっています。救助が「起きてしまった災

害」への対処であるならば、今の仕事は「火災を未然に防ぎ、悲劇を生ま

ない」ための重要な砦です。地道な活動ではありませんが、地域の安全を支える今の役割に、大きな

やりがいを感じています。

現在は仕事に邁進する日々ですが、また皆様と再会し、思い出を語り合える日を楽しみにしております。

近況

令和七年 専攻科卒業

松原 美咲 希

私は約一年前に津山東高校看護科・専攻科を卒業し、看護師として働いています。

学生の頃は環境が変わり、状況が慌ただしく、毎日変化する医療現場の中で新たな知識や技術を学び、身につけることに一生懸命です。

学生時代を振り返ると、膨大な課題やテスト・臨床実習など、挫けそうになることも多くありました。しかし今、看護師として臨床の場に出ると、

その東高校での学びは看護だけでなく、社会人としてのマナーなど、様々な場面で活かされていると実感します。共に切磋琢磨しながら一緒に頑張ったクラスメイトや、時に厳しく、そして温かく

見守りご指導してくださった先生方に改めて感謝しております。



臨床では、様々な思いで入院されている患者さんが多くおられ、日々命と向き合うことの難しさや看護させていただく楽しさを痛感しています。看護師としても社会人としても、まだまだ未熟な私ですが、いつか看護師になれたことに誇りを持つよう、日々患者さんの安全・安楽を考え、寄り添える看護を意識して、向上心を持ち、努力を重ね成長したいと思えます。

集まろう、話そう、昔のように。 「同窓会」みなさんも開催してみませんか？

同窓会は、久しぶりに会う仲間と、故郷のこと、暮らしや仕事、結婚など、今後の人生について考える良い機会になります。同級生が故郷に帰ってくる夏休みや年末年始の期間を利用して、同窓会で、仲間たちと学生時代の思い出話や近況を語り合いませんか。

県では、若い世代の結婚や出産・子育てへの関心を後押しし、希望をかなえる取組を行っており、中でも、同窓会の開催について、力を入れて応援しています。また、一部の市町では同窓会の開催に補助を実施しています。

詳しくは岡山県縁むすび応援室のホームページをご覧ください。

集まろう、話そう、昔のように。

「同窓会」みなさんもやってみませんか？

岡山県 同窓会

一部の市町では、同窓会への補助を実施しています。

●お問い合わせ先：岡山県縁むすび応援室

電話 086-226-7607



全国大会出場おめでとう *頑張れ!! 東高生!!

同窓会では、全国大会出場者たちに
激励金を贈呈しています。

令和7年度 全国合同バレエのタベ
出場



食物調理科
うまいっしょ北海道
全国高校生料理選手権 2025
入賞



同窓会総会開催のお知らせ

来年度は、平成12年卒の方々を中心に
平成13年卒・令和8年卒の幹事団で同窓
会総会を開催いたします。日程は下記の
日程で開催が予定されています。
より多くの御参加をお待ちしています。

開催予定
日時

令和9年1月3日(日)
10時30分 同窓会総会
11時30分 懇親会

場所

『鶴山ホテル』
岡山県津山市東新町114-4
TEL 0868-25-2121

当番幹事

平成12年3月卒・平成13年
3月卒・令和8年3月卒

- 次 第
- 一、開 会
 - 二、同窓会長挨拶
 - 三、校長挨拶
 - 四、議 事
 - (一) 議長選出
 - (二) 議長挨拶
 - (三) 令和6年度事業報告
 - ① 令和6年5月十三九日
第一回役員会
・令和5年度
事業・決算報告、
監査報告
・令和6年度事業・
予算(案)
・その他
 - ② 六月十七日
第一回総会幹事団会
役員会
同窓会役員、当番幹
事(日十・十一・R六
年卒代議員)
 - ③ 十月八日
第二回総会幹事団会
役員会
 - ④ 十二月三日
第三回総会幹事団会
役員会
 - ⑤ 令和七年一月三日
同窓会総会・懇親会
 - ⑥ 二月二十八日
同窓会入会式
(新入会員百八十八名)
・入会記念品としてP
TAと合同で卒業
証書カバーを贈呈
 - ⑦ 三月一日
会報発行
 - (四) 令和六年度決算報告
 - (五) 令和六年度監査報告
 - (六) 令和七年度事業計画
 - (七) 令和七年度予算計画
 - (八) その他
 - (九) 議長退任
 - 五、その他
 - 六、閉 会
杉山和之副会長挨拶

令和七年度 同窓会総会報告

日時 令和八年一月三日(土)
場所 津山鶴山ホテル

原稿募集について お願い
毎年、三月一日に発行しております同窓会報の原稿
を皆様より募集しております。
内容は、近況報告・体験談・高校時代の思い出・学
校などに関する所感・エッセイや詩等；何でも結構で
す。写真の掲載もしますので、一月中旬くらいまでに
左記までお寄せください。

〒七〇八一〇八二二
岡山県津山市林田二二〇〇
岡山県立津山東高等学校 同窓会事務局 宛

E-mail: tuhigasi@pref.okayama.jp

あなたは何年の卒業ですか？

毎年、同窓会総会の幹事団は、次年度
卒業生にバトンタッチされています。
令和8年度は平成12年3月卒業の方が
中心となります。その前年には、準備・
進行の仕方など知っていただくため、前
年度の方と一緒に幹事団にも入ってい
ただき、一緒にお手伝いしていただきます。
卒業の年を確認していただき、代表と
なっている方はもちろんのこと、それ以
外の方もぜひ、ご協力ください。

ご 注 意

ここ数年、同窓会事務局や学校職員を
名乗り、名簿の発刊や同窓会を理由に住
所や電話番号を聞いてくる電話があるよ
うですが、現在、学校・同窓会ともその
ような調査は行っておりませんので、ど
うぞご注意ください。お願いいたします。

令和八年度 同窓会総会幹事団

○平成十二年卒代議員

芦田 裕志、小坂 隆広、竹端さおり、山崎 墨史

○令和八年卒代議員

岩佐 結依、定森 光紀、松井 祐樹、今田 美衣
藤木友梨奈、藤原 唯、丸尾 美玲、宮本 亮
小寺 尚、日下 由奈、原田 佳奈、松岡 春妃
本田 結萌、谷口 美羽、吉岡 澁喜、須江 天飛
塚元 紗来

以上の方々に加え、令和九年度総会幹事団をお願いす
る平成十三年卒代議員の方々にも参加をお願いします。
また、看護科については、専攻科修業年時に代議員と
して参加する。

令和6年度決算書

岡山県立津山東高等学校同窓会 (R6.4.1~R7.3.31)

一般会計

収入の部

単位：円

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 比較増減, 備考. Rows include 繰越金, 入会金, 雑収入, 計.

特別事業準備金

収入の部

単位：円

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 比較増減, 備考. Rows include 繰越金, 繰入金, 雑収入, 計.

支出の部

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 決算額, 比較増減, 備考. Rows include 事業費, 会議費, 通信費, 事務費, 設備費, 別途積立金, 激励金, 予備費, 計.

残金 収入額 - 支出額 = 次年度繰越金 8,101,687 - 0 = 8,101,687

以上の通り報告します。

令和 7 年 3 月 29 日 岡本みくに

間違いなく正確に処理できており、間違いありませんでした。

令和 7 年 4 月 9 日 井上 麻美

田淵 重光

残金 収入額 - 支出額 = 次年度繰越金 1,432,793 - 1,113,333 = 319,460

令和7年度予算書 (案)

岡山県立津山東高等学校同窓会 (R7.4.1~R8.3.31)

一般会計

収入の部

単位：円

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 比較増減, 備考. Rows include 繰越金, 入会金, 雑収入, 計.

特別事業準備金

収入の部

単位：円

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 比較増減, 備考. Rows include 繰越金, 繰入金, 雑収入, 計.

支出の部

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 比較増減, 備考. Rows include 事業費, 会議費, 通信費, 事務費, 設備費, 積立金, 激励金, 予備費, 計.

※科目間の流用は妨げない。

※今年度、特別事業準備金の支出の予定はありません。

編集後記

お忙しい中、多くの方々から原稿を執筆していただき、皆様にごのお借りして、深く感謝申し上げます。また、今年度も約百名の方々にご参加いただき、同窓会総会・懇親会を開催できましたことも併せて感謝申し上げます。

令和七年は、昭和に換算すると「昭和百年」という節目の年。「災害級」とも言われる記録的な猛暑や物価高などのニュースも多かった年ですが、テレビをつければ岡山県出身の山本由伸投手のスラッとするような活躍が、私たちの心を晴れやかにしてくれました。

また、大阪・関西万博の開催に沸き、空飛ぶクルマやAI技術など、未来社会の姿を目の当たりにし、時代の変化のスピードに驚かされました。

母校も少しずつ様変わりしていますが、教室から聞こえる生徒たちの活気ある声は、私たちが過ごしたあの頃と変わりありません。本誌を通じて、そんな母校の「今」と、変わらぬ「伝統」を感じていただければ幸いです。

今後とも会員の皆様とのつながりを大切にしながら、母校の発展のため、尽力していきたく思いますので、御指導・御鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様、御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。編集後記とさせていただきます。

(同窓会事務局)